



～ 教育 ～



業務別チーム体制

医療部門

回復期リハビリ病棟

地域包括ケア病棟

緩和ケア病棟

介護部門

訪問リハビリ

通所リハビリ

メリィデイズ（サ高住）

間接部門

教育チーム

広報・開発チーム

メディカルフィットネス

1日の業務の流れ

8:30	朝 礼
8:40	リハビリ業務 ・9単位
11:40	カルテ入力
12:00	～ 休 憩 ～
13:00	リハビリ業務 ・11単位
16:40	カルテ入力 ・書類業務（リハビリ計画書、カンファレンス記録等）
17:20	夕礼（チーム別 連絡事項の確認）
17:30	終業



※回復期リハビリテーション病棟スタッフの場合

臨床教育（ローテーションによる教育）

入職後5年間で『医療』と『介護』を学ぶシステム

医療部門

- 回復期リハビリ
- 地域包括ケア
- 緩和ケア

介護部門

- 訪問リハビリ
- 通所リハビリ
- 介護施設

働きたい分野へ

- 医療部門
- 介護部門
- 間接部門

入職1～3年目

3～5年目

5年目～

教育プログラム

経験年数に応じた教育プログラム

プログラム名	Rookieプログラム	Beginnerプログラム	Basicプログラム	Standardプログラム
経験年数 (目安)	3カ月	1～3年目（3年間）	4～5年目（2年間）	6～10年目（5年間）
目標	基本業務を実践できる (情報収集,リスク管理,患者介入,リハ記録)	必要に応じて指導を受けながら、 医療保険分野での基礎的な リハビリテーションを実践できる	介護保険分野を含む多様な領域で、 標準的なリハビリテーションを実践できる	一定水準以上のジェネラルな能力の開発 所属のチームマネジメント、 学生・後輩指導ができる
ローテーション	—	《院内ローテーション》 回復期リハビリテーション病棟を経験する	《法人内ジョブローテーション》 以下の介護保険分野のうち、1部署経験する メリィケア、訪問リハビリテーション 介護医療院、通所リハビリテーション	《法人内ジョブローテーション》 以下の介護保険分野のうち、2部署目を経験する メリィケア、訪問リハビリテーション 介護医療院、通所リハビリテーション
実務経験	・ 情報収集（カルテ） ・ リスク管理 ・ リハビリプログラムの模倣と実施 ・ リハビリ記録	経験チェックシート (評価とアプローチ)	経験チェックシート (評価とアプローチ)	経験チェックシート (評価とアプローチ)
症例報告	—	1回／2か月 （6回／年）	1回／2か月 （6回／年）	—
学会発表	—	—	リハビリテーション部が規定する 学会で「通算2回」発表する	リハビリテーション部が規定する 学会で「通算15回」発表する
指導経験	—	—	—	バイザーとして学生指導 5 名

Rookieプログラム（新入職員研修予定）

[入職後スケジュール目安]

4月	全 体	1週目 研 修（講義・実技・電子カルテ操作等）
	個 別	2週目 臨 床（見学 ➡ 模倣 ➡ 実施 の流れ） 1日約6単位程度リハビリ実施
5月	個 別	臨 床 1日約15単位程度リハビリ実施
6月	個 別	臨 床 1日約18～20単位程度リハビリ実施

【教育チームによる研修・指導】



広島大学病院との提携

広島大学病院の理学療法士による臨床指導



※週に1度2名の理学療法士が来院